# はあと保育園新山口

# 受賞：2016年日本建築学会作品選奨 / [第56回BCS賞](https://www.nikkenren.com/publication/ACe/ce/ace1610/pdf/ACe1610_046-049.pdf) / 平成27年度日事連建築賞　優秀賞 / 2015年度グッドデザイン賞 /

# JIA中国建築大賞2015　優秀賞 / 2015年度キッズデザイン賞 /第11回こども環境学会 デザイン賞​/ 第四回山口市景観賞　最優秀賞

所在地：山口県山口市小郡平成町1-20

建築主：社会福祉法人青藍会

# 用途：保育所(認可保育所180名・放課後児童クラブ)

# 設計：アプルデザインワークショップ

# 構造設計：MID研究所

# 設備設計：総合設備計画

# 施工：安藤ハザマ

# 敷地面積：1864.24

# 建築面積：807.59

# 延べ床面積：1315.63

構造規模：RC造2階建(ボイドスラブ)

# 竣工：2014.3

写真：北嶋俊治

はあと保育園は、RC造地上２階建の最大計画定員1８0名の認可保育園である。

大振りで雑多な用途の建物が並ぶ前面道路側は、敷地間口一杯のファサードとし存在感を示す。一方、裏側では建物を北側に寄せ、街区の中心にある近隣公園と連続させて園庭をとり、２階屋上は陽当たりと眺望に恵まれたテラスである。公園に向かって下がる階段状の断面構成として、手摺と屋上を積極的に緑化し公園から続く地形のように扱う。２階のバルコニーやテラスや窓面を金網で覆い、安全性を高め、絡まる植物とともに多層の柔らかな表層とした。

　2階外部と屋上の床は、ウッドデッキによる２重屋根構造を用い、真夏の直達日射を防いでいる。保育室の南側に、１階はコンクリートの庇（出が2.8m）、2階はガラス庇（2.4m）を設け、夏の日差しを遮り、雨の日でも窓を開けて通風を得られる。大きな庇は園児にとって充分な半外部空間となる。

 前面道路側を送迎用の車寄せとし遊戯室兼食堂のピロティを介して保育室と園庭に繋がり、更に歩専道側の裏口に繋がる。広いピロティは親の送迎にも雨天時の外遊び場にも使える。ピロティの一角の職員室からは、前庭と園庭の両方を見渡せ、園児を見守り訪問者の出入りを監視できる。２階に設けた年長組の保育室には、室内からも上れるが、外からも遊戯室兼食堂の南側を巻くギャラリー階段を使って行ける。天井高を2.2mとして、梁型のない厚さ350mmのボイドスラブを採用し、更に天井懐を省略して不燃吸音断熱材を吹き付け、階高2.78mを実現して上下階の距離を縮める。建物全体を遊具と考えた。幼心に刻み込まれる心象風景の一つになれば本望である。